

*** 隠岐の島町農業公社のあり方、今後の方向は**



眞野誠一郎議員

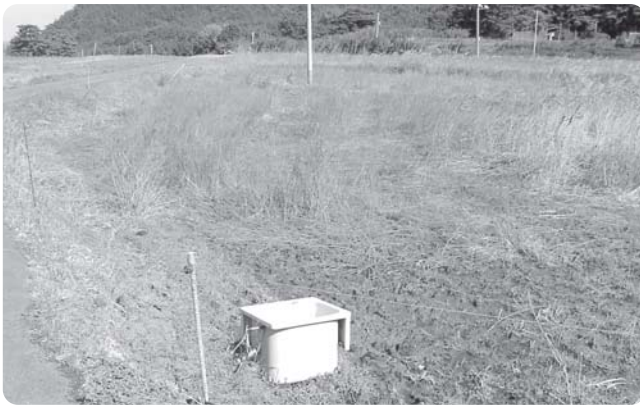
眞野誠一郎議員 農業公社は、寄附行為に基づく「農地保全、担い手育成、高齢者対策、地産地消推進」等の公益事業と「水

稲栽培、農作業受託」の収益事業がある。荒廃農地が増加する中で、受け手のない条件の悪い農地を受けたり、職員側も町丸抱えだと言う意識があり、非常に難しい経営状況だと考える。収益を上げる為の努力が必要であり、職員の意識改革も必要である。今後どのように指導するのか。

松田町長 本町が促進する農業の担

い手の育成により、新規就農者や企業の農業参入、更には集落営農法人の育成も実現した現状を踏まえて、農地保全の方策を見直す時期にあるように考えている。

放牧利用の農地



しかしながら、農業公社の役割は

*** 滞納金の徴収対策を強化せよ**



石田茂春議員

石田茂春議員 十八年度滞納額は2億5835万3000円である。納税推進室を中心として徴収努力をしたのか。

松田町長 担当課、支所の職員で構成する徴収会議、管理職で構成する徴収対策本部で滞納整理活

理解しているつもりであるが、この厳しい財政状況の中で、ある程度は経営ができる形を考えていくしかない。そういう状況の中で、農業公社がどうあるべきか、更にみんなで議論を深めていく必要があると考えている。

動にあたってはいる。議員 結果は昨年より400万円増となっている。徴収努力をしたとは思えない。

町長 前年度より増え、残念な結果になった。議員 納税方法を見直す考えはないのか。

町長 検証したうえで、改善すべき点があれば検討したい。議員 欠損金は十七年度1264万7000円、十八年度1268万40

00円となっている。毎年1000万円台の欠損金の整理をどう考えているか。黙って真面目に収めてくれている町民のことを考えているのか。

町長 不納欠損とせざるを得ない案件が生じてくることが現状だ。ほとんどの方が真面目に納税されており、こうした方々に不公平感を抱かれることのないようにも、



日頃の滞納整理活動を一段と強化する。また、内入りや誓約書などにより、時効中断を図り、こうした措置に応じない悪質滞納者に対しては、法的措置を講じる方針だ。

*** 隠岐の情報を全国へ * 食料自給率アップ対策は**



齋藤昭一議員

齋藤昭一議員 映画、テレビドラマ、CMなどの

ロケーション撮影を誘致して、地域の経済・観光振興、文化振興に大きな効果を挙げているフィルムコミッションは松江商工会議所内にあり、松江市を中心とする周辺の映画やテレビのロケ撮影

を支援している。

旧隠岐空港を使用しての自動車会社の新車コマースナル撮影、アクション映画、菜の花畑、など多くの観光地が対象となる。先般、ローソク島に夕日が灯る映像がテレビ放映されたが、隠岐のローソク島が全国にメジャー進出した瞬間であった。現在はマスメディアの

時代であり、これを如何に利用するかが課題であるが。

松田町長 松江市の協議会への参加を検討する。

議員 修学旅行生を「しげさ踊り」での歓迎がテレビ放映されたが、盛り上がりがなかった。若手の後継者育成が必要ではないか。

町長 学校教育の中にも取り入れ、保存伝承する

事も考えられる。

議員 国の食料自給率は40%で先進国では最低。平成二十二年までに食料自給率を45%とする目標が定められ、休耕地の活用を進めている。隠岐の島町の休耕地の活用状況と今後の対策は。

町長 休耕地を牧野として活用の可能性を検討している。

*防災対策について



佐々木雅秀議員

佐々木雅秀議員 平成十八年に地域防災計画・水防計画を制定したが、今回の豪雨で有効に機能したか。

松田町長 警戒本部の設置等可能な限りの対策をとった。課題を検証し、

今後実践の中で最善策に取り組み。

議員 計画では松江地方気象台が時間雨量80ミリを超えると、記録的短時間大雨情報を発表するところ。那久で131ミリとなったが、初動体制のあり方は。

町長 予期しない豪雨であり、今後「注意報」の段階から住民への注意喚起を強め、緊急放送のあり方も検討する。

メジャーデビューのローソク島



議員 計画では町は毎年出水期前に1回以上水防訓練を行うとある。自主防災組織等、住民との協力が必要であり、支援すべきだ。

町長 地域と一緒になつて防災訓練を検討する。地区の自主的な取り組みは大変重要だ。

議員 災害対策だけでなく第一次産業の振興問題として森林の荒廃をどう考えるか。

町長 生産者の実になる間伐事業や木質バイオマス事業に積極的に取り組む。



齋藤幸廣議員

齋藤幸廣議員 平成十九年度事業評価実施結果表

一日も早い復旧を



議員 高齢者集落での被害と孤立化が顕著だが。

町長 高齢集落維持は重要課題だ。民生児童委員、消防団の協力を得て取り組みたい。

*公共下水道工事業評価の経過資料の開示を *農業公社の今後の方針を早急に

(十八年十月)には、公共下水道事業は「町の財政状況からは今後の大きな課題となることから、次期計画(第2期工事概ね5年後)時において、当初計画通り実施するか検討する事」と書かれている。事業開始後わずか2年でこのような評価結果に何故なったのか。評価の経過資料開示を求める。公共下水道事業をこのまま進めることは財政的に隠岐病院の整備を不可能にするのではないか。

松田町長 公開すべき情報は積極的に公開すべきだが、非開示とすべきものもあり、情報公開条例の規定により非公開とした。隠岐病院の整備については、財源の確保とともに



工事の進む終末処理場

将来にわたる負担金や実質公債費比率等の推移を見定めるなど、中長期的な財政面の検討が必要であり、県、広域連合との協議を行って決定する。
議員 農業公社は県による検査の中で、平成二十年度末には債務超過に陥る状況にあるので、今後どうするか早急に方針を出す必要があるとの指摘を受けている。どう対応するのか。

町長 県の考えを参考にしながら、調査・研究をして十二月には方向を出したい。